
S A Z A Eさんのバトルロワイヤル

今年で〇〇歳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

S A Z A Eさんのバトルロワイヤル

【Nコード】

N 9 4 4 8 G

【作者名】

今年で○○歳

【あらすじ】

殺し合い？一ヶ月間殺し続ける？政府が用意した人口減数案。それはバトルロワイヤルだった。

ブローグ いつもと変わらない日・・・？

日本 某日

いつもと変わらない、のどかな日だ。

カツオはバットを持って歩きながら思った。

今日は公園で中島と野球の約束をしている。

「よし、今日もガンガン打つぞー！」

眩きながら歩いていると、すぐ公園に着いた。

公園で中島と他数人が円を作ってなにか話している。

「おゝい！ 中島ゝ！」

「あ、磯野！ こっちにこいよ！」

（野球の作戦かな？）

カツオは円の中に入った。

「僕、今日はセンターを……」

「磯野。今日は野球、中止だ。ちょっと大切な話をするんだ。」

（え？）

「大切なって、何の話……？」

「えゝ！ そんなことも分からないのか……？！」

中島が呆れながら言う。

「今日の朝のニュースは見たかい？」

今日も寝坊して飯も食べずに家を出たカツオは、テレビを見る暇はない。

「ごめん……。見てないや……。」

「そつか。実はな……国全体で、殺し合いをするんだ……。」

「え……？」

カツオは頭の中が真っ白になった。

「おい……中島……そついう冗談は……。」

「磯野!!!」

カツオは中島が突然怒鳴ったことに驚いた。

そして中島自信も、なぜ怒鳴ってしまったか驚いていた。

「悪い……本当のことなんだ……冗談なんかじゃない。」

「嘘………だろ………」

「あ。会議の時間だ！僕はもう帰る。生き残って一緒に漫画見ようぜ。磯野。」

「え、おい！中島！」

カツオが中島のことを止めた。

だが、中島は走り去っていった。

「皆………解散だ………」

円の中の一人が言う。

「クソッ！ 武器の調達はどうすれば……!-!」

「何でも、国が街中に設置するらしいぜ」

「チッ……クシヨウ……」

「皆……どこに……」

「磯野。 今日から3日後に殺し合いが始まる。 その間にできる
限り食料を集める。」

「え……」

「また……野球しようぜ。」

数分後、公園に居るのはカツオだけになった。

「どうすれば……誰も殺したくない……」

「家に……戻らなきゃ……」

カツオは公園を後にした。

プロローグ いつもと変わらない日・・・？ (後書き)

サザエさんのバトルロワイヤル。

なんか書きたくなって書いてしまった、どうしようもないB級小説。

そんな小説ですが、よろしくお願いします。

第1話 開始

某日 午後5時

「ただい．．．ま．．．」

カツオが家の引き戸を開けた。

奥から重い足取りでサザエが来た。

「お帰りなさい．．．今日の晩御飯、カレーよ．．．」

「お姉さんも、知ってるの．．．」

かなり空気が重い。

サザエが呟いた。

「忘れさせて……………」

「ごめん……………」

カツオもまた、重い足取りで家の中へと入っていった。

「おにいちゃん！ おかえりなさい」

「カツオ兄ちゃんですう。 お帰りなさいです」

「ただいま……………」

「カツオ。 テレビつけて……………ニュース観ないと……………」

カツオがテレビをつけた。

ちゃぶ台の上にお茶を置いて、 ニュースを観はじめた。

『次は昨日の午後5時20分に政府がだした、人口削減案について

です。』

カツオとサザエがテレビに食いつきそうなほど静かに見てる。

『ルールは個人で殺害しあうということです。武器については、各家庭で用意するも政府が待ちの中に設置するものを使ってもいいということです。また市民の団結などについては、許可を出すそうです。』

とんでもないルールだな。

カツオは思った。

テレビはまだ、ゲームの『ルール』について説明する。

『ゲームの開始は、3日後の5月23日午前6時から、終了は午前6時から1カ月後の6月23日。この法案によって、日本の人口はおよそ5分の1に……』

無表情のアナウンサーは静かな口調で、ゲームの開始日と終了日と言った。

『なお、5月20日から5月23日までの3日間は休暇となるそう

で、5月23日深夜6時から6月23日までの一ヶ月間も休暇となるようです……………」

『次のニュースです……………』

プツン……………。

カツオはテレビを消した。

「姉さん、ご飯まだ……………」

「ああ、ごめんね。今作るから……………」

それから、フネ、波平、マスオが帰宅した。

いつもと変わらない居間。
いつもと変わらない場所。

変わっているのは、重苦しい空気だけだった。

ワカメとタラオはよく分かってないらしい。

なにか、嫌なことでも起こったんだろうな……。

ワカメは思いながら、カレーライスを食べた。

「殺し合い……か……」

波平が口を開いた。

「変に固まるよりは皆、それぞれ逃げた方がいいだろう」

「その方がきつと、皆死なないで済む……」

「・・・・・・・・」

それだけだった。

もう誰も、何も口に出さなかった。

3日後 5時58分

勢員が居間でテレビに釘付けになっている。

『ゲームの開始まで、あと2分・・・・・・・・1分を切りました・・・・・・・・』

居間にピリピリとした空気が流れる。

「・・・・・・・・」

『・・・・・・・・スタートです』

アナウンサーの静かな口調のように、外は静かだった。

次回予告

サザエです。うふうふうふう・・・・

さて次回は

「マスオ、狂う」

「カツオ、中島との合流」

の二本です。

じゃんけんポン！

うふふふ……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9448g/>

S A Z A E さんのバトルロワイヤル

2010年10月11日22時28分発行